



広報 売市交番令和8年1月号

売市交番
TEL 45-2661



冬道の交通事故を防止しよう



令和6年12月に発生した交通事故のうち、約3割が冬道のスリップによる事故となっています。雪や雨が降った後の路面は、気温が下がると凍結しやすくなります。また、急激に冷え込む早朝や夜間は、雪が降っていなくても路面凍結の恐れがあり、とても危険です。冬道の交通事故を防止するにはどのようなことに気をつければ良いのでしょうか。

知っておきたい！！冬道走行時にすべきこと

道路や交通の状況の確認
出発する前に、ラジオを聞いたり、日本道路交通情報センターに電話をかける等して、あらかじめ道路や交通の状況を確認する。

雪路用タイヤ等の装着
雪道や凍り付いた道は滑りやすいので、チェーンや雪路用タイヤを装着した上で、速度を落とし、十分に車間距離をとって走行する。

急のつく運転の防止
横滑りを起こすことが多いので、ハンドルやブレーキの操作は慎重に行う。急発進・急ブレーキ・急ハンドルはしない。

車の通った跡を走行する
雪が積もる道を走るとハンドルを取られる危険性があります。他の車が通った跡を走行することで比較的走りやすくなります。

1・2・3で覚えよう！！ ～冬道の交通事故防止～

1割以上
スピードダウン

2倍以上
車間距離

3分以上
早めの出発



ゆとりを持って走ろう
心と時間と車間距離



除排雪中の事故を防止しよう

- ◎ 令和6年度の雪害発生状況
発生件数 180件（前年比+151件）
被害者 179人（前年比+150人）
死亡者 10人（前年比+7人）
- ◎ 除排雪中の事故防止のために、気をつけること
【雪下ろし中の転落事故防止】
 - 命綱、ヘルメット、滑り止め付きの靴などを着用する。
 - 転落時に備え、周りに雪を残して作業をする。
 - はしごは確実に固定する。
 - 除排雪作業は、家族や近所にも声をかけて、できるだけ複数人で行う。
 - 軒下からの屋根の雪落とし時は、雪の下敷きにならないように、立ち位置に十分注意する。
 - 晴れた日は屋根雪が緩むので、特に注意する。
 - 体調が悪い日は無理をしない。
【除雪機による事故の防止】
 - 除雪機の点検時や雪詰まりを取り除くときは、必ずエンジンを停止する。
 - 作業中は周りに注意し、人を近づけない
 - 後退する時は、後方や足下を確認する。

『110番』は緊急通報電話です

110番は、事件や交通事故が発生した時に警察へ通報するための緊急ダイヤルです。警察では、毎年1月10日を「110番の日」と定め、県民の皆様に110番通報の利用を呼び掛けています。



- ◎ 110番は緊急通報電話です。お悩み・ご相談は#9110又は警察署へ
110番通報は、事件や事故のための緊急電話です。事件や事故があった場合は、ためらうことなく110番通報をしてください。緊急ではない悩み事などの相談は、警察安全相談電話「#9110」へ（平日午前8時30分から午後5時まで）、各種お問い合わせなどは、最寄りの警察署への連絡をお願いいたします。